

2022年度整備

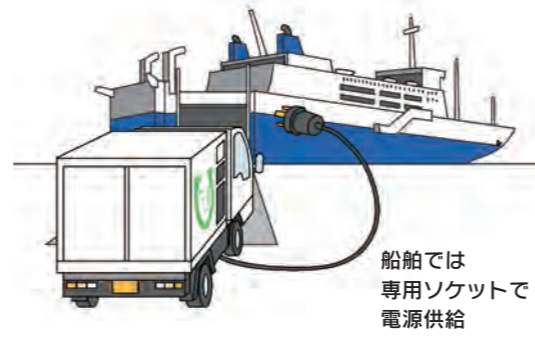
# 発電機付き冷凍冷蔵コンテナ

通常時、災害時、地域特性に応じ様々な利用方法が考えられます。

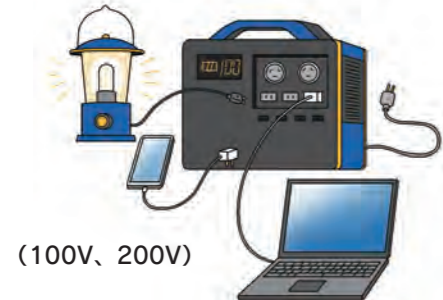
コンテナ同様  
移動しながら冷凍可能



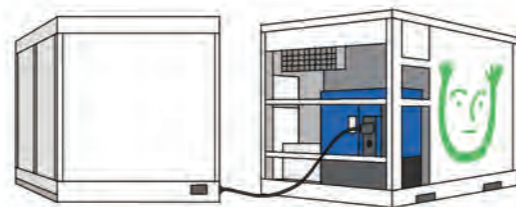
船内への積み込み



緊急時の発電機として  
照明や充電に利用



他の冷凍コンテナへの  
電源供給源として



冷凍冷蔵倉庫



## 【発電機付き冷凍冷蔵仕様】

- ・外寸法：L 3,658×W 2,438×H 2,591（12F コンテナ）  
※発電機と冷凍機を取付けている（発電機と冷凍機は相互制御を行っておらず、ソケットによる受電のみ）
- ・温度範囲：+23℃～-30℃
- ・内容積：1,100×1,100 のパレットが 4 個積載可能
- ・発電機：発電機メーカーの一般汎用タイプを使用
- ・燃料：第 2 石油類の軽油

(公財)九州運輸振興センターの

# 海運振興関連施設整備事業



公益財団法人九州運輸振興センターは、日本財団の助成を受け、昭和 56 年より海運振興関連施設整備事業を行っています。

本事業においては、離島への生鮮食品の安定供給及び荷役の効率化のための冷凍コンテナ・保冷コンテナ等の整備、安全に乗下船ができるバリアフリー対応型タラップや浮棧橋、離島岸壁での風雨防止に対応した通路シェルターや簡易待合所等の整備を行うことで離島住民の民生の安定と福祉の向上に貢献しています。

〈整備実績のある施設〉

冷凍コンテナ・冷凍冷蔵コンテナ・保冷コンテナ・風雨防止用通路シェルター・簡易待合所・バリアフリー対応型タラップ・浮棧橋

※規格・仕様については各航路の事情や船舶の大きさ、港の管理状況によって相談の上、決定します。

〈製作費用〉

社会情勢等により助成率も変わりますが、厳しい離島航路経営に対する日本財団の理解により、民間等赤字航路（国庫補助航路）については 100%、これ以外の民間等黒字航路は 80%の助成率となっています（浮棧橋についてはいずれも 80%助成）。

〈スケジュール〉



※その他詳細については毎年 6 月にセンターより郵送する「海運関連施設の要望調査について」をご覧ください。

公益財団法人九州運輸振興センター

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 3 丁目 10 番 17 号 TEL: 092-451-0469 FAX: 092-451-0474  
E-Mail: info@kyushu-transport.or.jp https://kyushu-transport.or.jp

公式サイト





## 冷凍コンテナ・保冷コンテナ・冷凍冷蔵コンテナ

### 【冷凍コンテナ】

220V(三相)の電源による冷凍機を組み込んだコンテナで温度管理ができます。

### 【保冷コンテナ】

断熱材で保冷効果を高めたコンテナで、ドライアイス等を詰めて使用します。

### 【これまで引渡したコンテナの規格・寸法】

L6058×W2438×H2591  
L3658×W2438×H2591  
L2000×W2100×H2100  
L2700×W1640×H2300  
L2438×W2991×H2438  
L2991×W2438×H2438  
L1680×W2125×H2100



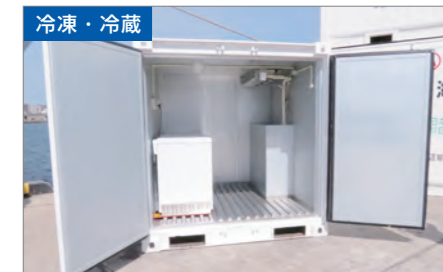
前面と側面に扉を付けたもの



船内または港に設置して食料品などの輸送や保管用として利用する



コンテナ内で冷凍と保冷の独立した2室があり、それぞれに扉がついている



港で食料品などの一時保管所として利用  
内部に小型の冷凍庫を設置している



商用電源設備のない地域や場所での使用が可能



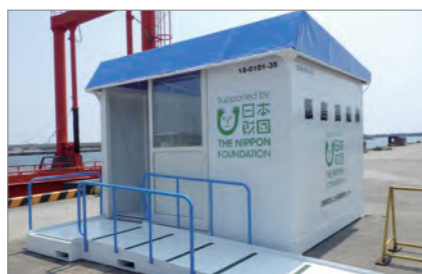
船内や港の設備に合わせて製作可能

## 簡易待合所

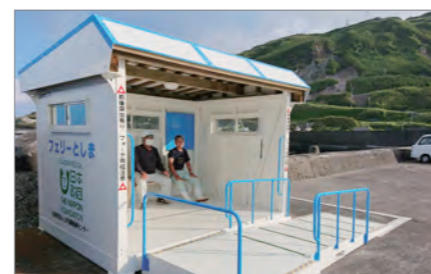
コンテナ型の待合所でフォークリフトを使っての移動が可能です。  
近年は屋根部分の補修がしやすいよう工夫したものもあります。

### 【これまで引渡した簡易待合所の規格・寸法】

L5000×W2240×H2300  
L2500×W3000×H2600



前面に扉、背面に窓があり、屋根部分がビニールシート



前面オープンで屋根の枠組みが木でトタン張



火山噴火のための簡易避難場所としての機能も付したものの



地域の子供達によってデザインされたもの

## 風雨防止用通路シェルター

雨や風、夏の日差しから旅客を守るためのものです。  
フォークリフトを使っての移動が可能で、短いものから長いものまで、直線やL字にも対応可能です。

【これまで引渡した風雨防止用通路シェルターの規格・寸法】  
L5000×W1610×H2450  
L3000×W1610×H2450



L5000×12 基が一直線に並んでいる



短いサイズにも対応



L字にも対応

## 浮棧橋

潮位によらず水面からの高さが一定となりバリアフリーでの乗降を可能にする施設です。  
※浮棧橋のみ補助率が異なります。

### 【これまで引渡した浮棧橋の規格・寸法】

L12000×W4500×H900  
L18000×W5000×H1100



浮棧橋本体のみの助成。渡り橋や浚渫工事等の費用は含まない

## バリアフリー対応型タラップ

岸壁や浮棧橋上に設置します。  
岸壁設置のタラップは、潮位の変化に合わせて傾斜角度を変えることができます。  
浮棧橋上に設置するものは、船の形状等に合わせてものになっています。



動画はこちら



潮位の変化に応じ傾斜角度を変えられる「スロープ」「ステップ」対応可能。屋根のありなし、移動時の手動電動の別も希望に応じる



太陽光発電によりバッテリーの充電を行う

### 【これまで引渡したバリアフリー対応型タラップの規格・寸法】

L9200×W2000×H3550  
L9900×W2000×H3900  
L9000×W2000×H3200  
L6600×W1500×Hリフト



浮棧橋設置のタラップ  
先端のスロープ部分が上下する



浮棧橋設置のタラップ  
潮位に合わせリフターを動かすことで微調整する